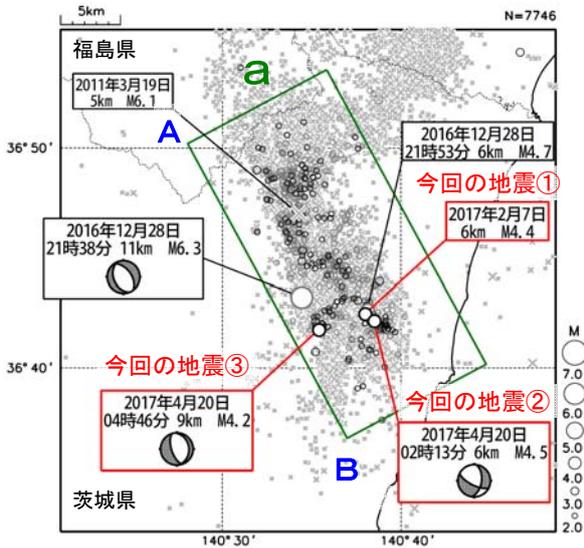


# 2016年12月28日からの茨城県北部の地震活動

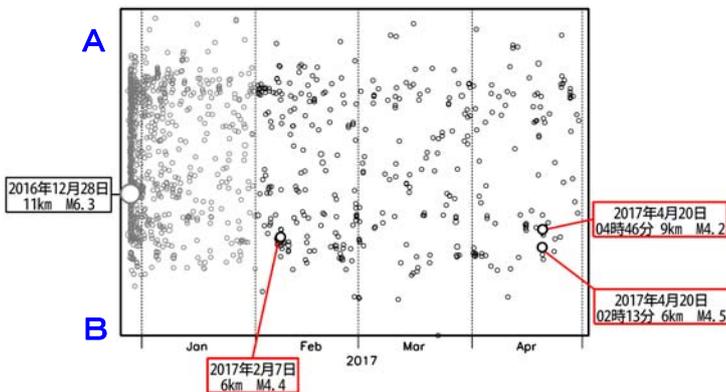
震央分布図  
 (2011年1月1日~2017年4月30日、  
 深さ0~20km、 $M \geq 2.0$ )  
 2016年12月27日までの地震を薄い×で表示  
 2016年12月28日から2017年1月31日の地震を薄い○で表示  
 2017年2月以降の地震を濃い○で表示



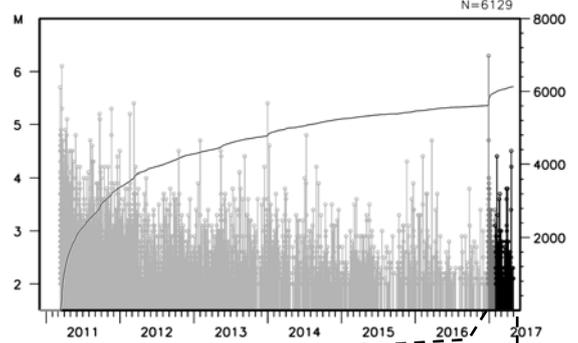
2016年12月28日のM6.3の地震(最大震度6弱)の発生以降にまとまった地震活動がみられている領域(領域a)では、期間内(2017年2月~4月)にM4.0以上の地震が3回発生するなど、その活動は、減衰しつつも継続している。2017年2月7日20時03分に茨城県北部の深さ6kmでM4.4の地震(最大震度3、今回の地震①)、4月20日02時13分に茨城県北部の深さ6kmでM4.5の地震(最大震度4、今回の地震②)、同日04時46分に茨城県北部の深さ9kmでM4.2の地震(最大震度4、今回の地震③)が発生した。これらの地震は地殻内で発生した。今回の地震②の発震機構は東北東-西南西方向に張力軸を持つ横ずれ断層型で、今回の地震③の発震機構は東北東-西南西方向に張力軸を持つ正断層型であった。これらの地震は、領域a内の南側で発生した。

1997年10月以降の活動をみると、福島県浜通りから茨城県北部にかけての地殻内(領域b)では、東北地方太平洋沖地震の発生後に地震活動が活発化しており、全体として低下しているものの、2011年以前に比べて活発な状況が継続している。

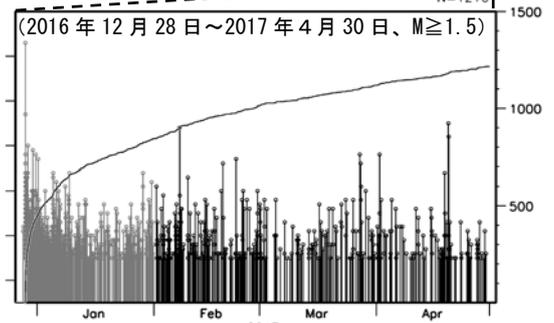
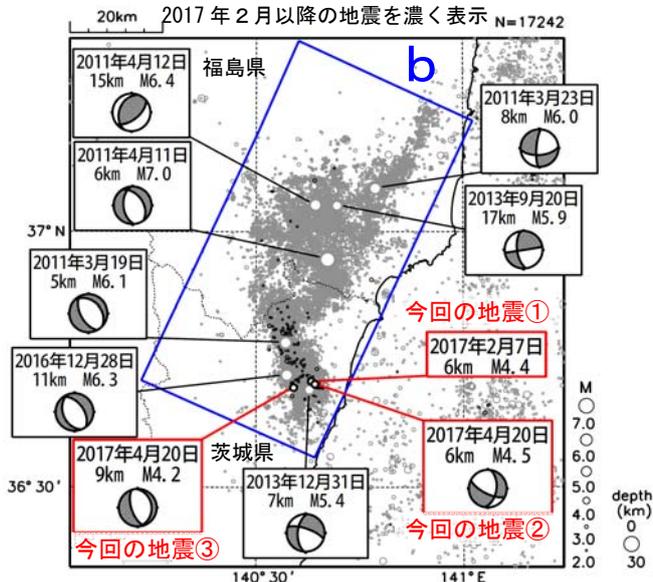
領域a内の時空間分布図(A-B投影)  
 (2016年12月28日~2017年4月30日、 $M \geq 1.5$ )



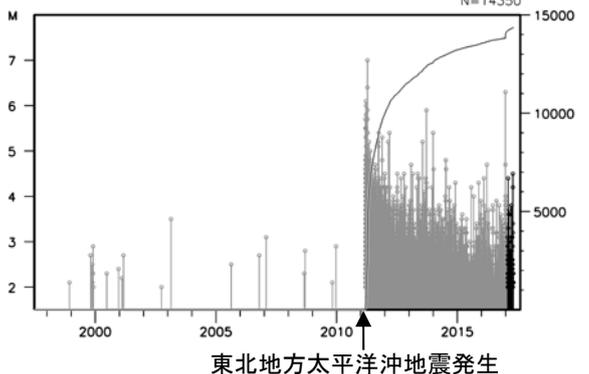
領域a内のM-T図及び回数積算図



震央分布図  
 (1997年10月1日~2017年4月30日、  
 深さ0~30km、 $M \geq 2.0$ )  
 2017年2月以降の地震を濃く表示



領域b内のM-T図及び回数積算図



東北地方太平洋沖地震発生